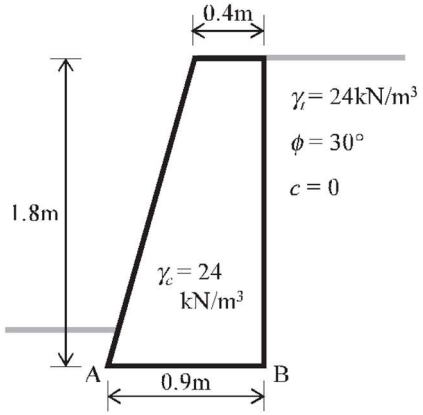
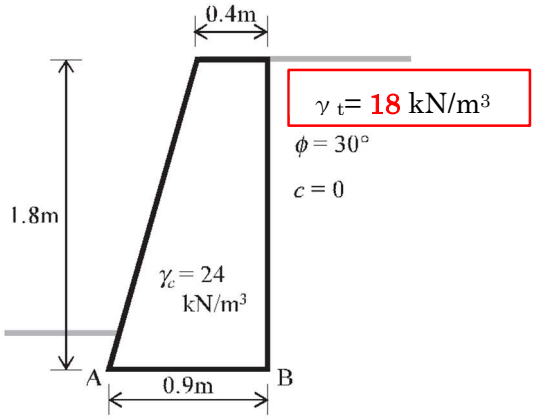
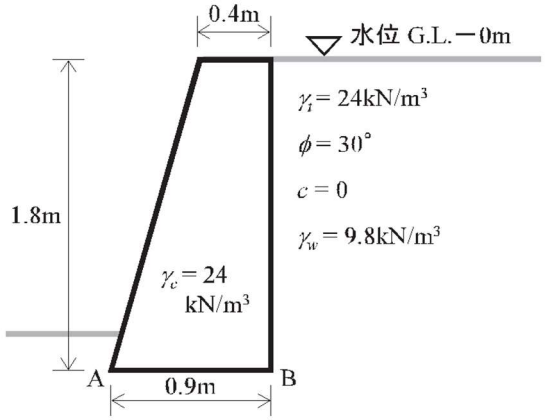
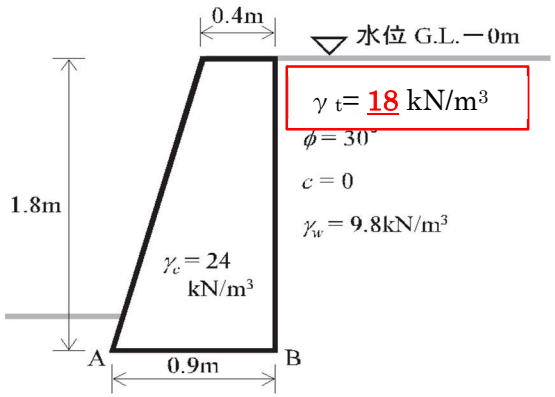
技術セミナーテキスト「構造設計シリーズ　建築基礎構造編」正誤表

令和７年９月

ページ	行	誤	正
17	下から 7 行目	流量 v	流速 v
137	5 行目	それぞれ長期荷重 Px_1,y_1	それぞれ長期荷重 Px_1,y_2
159	10 行目	(1.8.6)式より	(5.8.6)式より
166	10 行目	砂質地盤： $10/3\times\Sigma\bar{N}_S\cdot L_S=10/3\times$（30.3×6m＋　×6m＋30×2m） ＝　（kN/m）	砂質地盤： $10/3\times\Sigma\bar{N}_S\cdot L_S=10/3\times$（　×6m＋　×6m＋30×2m）＝ （kN/m）
184	表 6.3-2	SD295A	SD295
187	表 6.5-4	$10/3\times N_S\cdot L_C$	$10/3\times N_S\cdot L_S$
237	下から 6 行目	固程度	固定度
240	5 行目	$\sigma_{min}=\frac{\bar{q}}{a_p}-\frac{M_d}{2I_p/b_2}=\frac{W_p}{A_p}-\frac{M_d}{2I_p/b_2}\leqq f_t$	$\sigma_{min}=\frac{\bar{q}}{a_p}-\frac{M_d}{2I_p/b_2}=\frac{W_p}{A_p}-\frac{M_d}{2I_p/b_2}\geqq f_t$
260	最下行	～であるため、N×0.55/R＞1.5　となり安全側といえます。	～であるため、N×0.55/R＝　＞1.5 となり安全側といえます。
260	演習図 18.1 課題擁壁	 演習図 18.1　課題擁壁	 演習図 18.1　課題擁壁

ページ	行	誤	正
261	演習図 18.3 課題擁壁 （水位あり）	 演習図 18.3　課題擁壁（水位あり）	 演習図 18.3　課題擁壁（水位あり）
288	12 行目	粘土質地盤： 1/2×Σ$\bar{q}_u$・L_C=1/2×（30.4　×5m＋ 41.0 ×7m＋ 181.2 ×2m）＝ 401 （kN/m）	粘土質地盤： 1/2×Σ$\bar{q}_u$・L_C=1/2×（30.4 ×5m＋ 41.0 ×7m＋ 181.2 ×2m）＝ 401 （kN/m）
293	解表 6.3-2	SD295A	SD295